

事業名 **セラミックアートセンター企画展開催事業**

[0477]

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	基本事業	自主的市民文化 芸術活動の育成・支援
----	--------------------	----	-------------------	------	--------------------

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	郷土資料館	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市民
意図	<p>・多くの市民(来館者)に利用してもらうことで、よりねんがとやきもののまち「江別」のイメージを広く共有し、市民の文化意識の高揚を図る。</p> <p>手段</p> <p>・「やきもののまち江別」を市民間に共有のイメージとして意識してもらうこと、また芸術文化に触れて市民生活を豊かにしていくために、地元江別をはじめ、道内外の優れた陶芸作品や芸術作品等の文化アートの鑑賞の場として企画展を開催する。</p> <p>・市内関係機関や道内外の美術館・博物館などにポスターやチラシ等を掲示する。</p>

事業量・コスト指標の推移		区分	単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	市民		人	123,054	122,568	122,564	122,138	
対象指標2								
活動指標1	企画展開催数		回	1	1	3	2	
活動指標2								
成果指標1	企画展入場者数		人	1,591	2,070	3,000	3,000	
成果指標2								
単位コスト指標								
事業費計(A)			千円	3,270	8,759	3,710	4,349	0
正職員人件費(B)			千円	4,179	5,394	4,164	4,888	0
総事業費(A)+(B)			千円	7,449	14,153	7,874	9,237	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)

平成23年度は国立美術館所蔵の「日本の現代陶芸展」を主体に開催する。同展の開催館は江別市の他、瀬戸市を予定しており作品輸送費、図録製作費などは、国立美術館と江別、瀬戸の3館按分となり単館開催に比べ経費的には安価で済むものである。この他、市内大学との連携事業、陶芸団体展を開催し、幅広い展開を図るものである。

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ3年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			